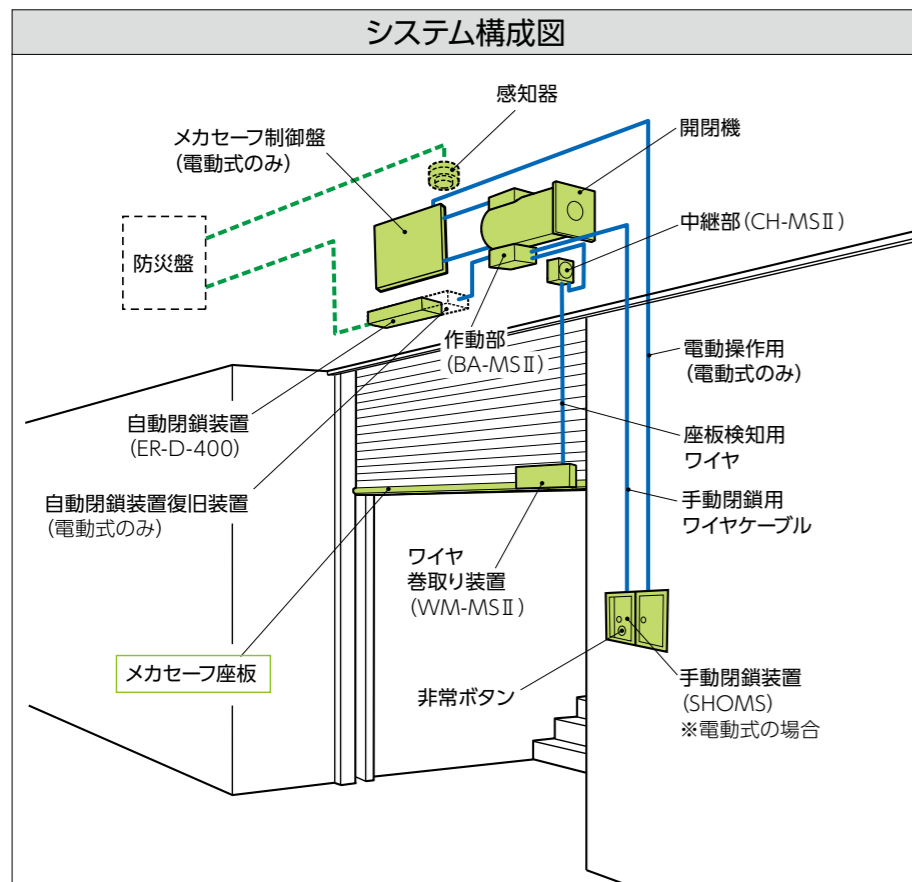




メカセーフ動作説明

煙(熱)を感知▶シャッター降下	障害物を検知▶シャッター停止	シャッター再降下	シャッター全閉鎖完了
<b>1</b> メカセーフ座板 OFF	<b>2</b> メカセーフ座板 ON	<b>3</b> メカセーフ座板 OFF	<b>4</b> メカセーフ座板 ON
火災時に感知器からの信号を受けると、自動閉鎖装置(ブレーキ解放装置)が作動。ブレーキが解放されシャッターが降下します。 <small>※手動閉鎖装置により随時閉鎖させる場合は、非常ボタンを押し込んでください。閉鎖中にレバーを押し下げると途中停止も可能です。</small>	シャッター降下中にメカセーフ座板が人や障害物を検知すると、ブレーキが復帰し、シャッターが一旦停止します。	障害物がなくなると、数秒後にブレーキが解放されてシャッターが再び降下を開始します。	障害物がなくなると完全に閉まります。障害物を再検知した場合は、 <b>2</b> と <b>3</b> をくり返し確実に閉鎖します。

●電動式の場合、通常使用時、閉鎖ボタンを押して降下しますが、降下中に障害物を検知するとシャッターが一旦停止し、反転上昇した後停止します。(再降下はしません)



■品質向上を目的に予告なく仕様を変更する場合があります。 ■印刷物と実物では色が多少ちがいますのでご了承ください。

**三和シャッター工業株式会社**  
http://www.sanwa-ss.co.jp/

○商品に関するお問い合わせは **0570-063011/03-3346-3011**  
(土日祝を除く平日9:00~17:00) ※一般電話・公衆電話からは、市内料金で通話可能。

○修理に関するお問い合わせは **フルタイムサービス FTS 0120-3030-17**  
(年中無休・24時間受付対応)

このカタログは環境に配慮した再生紙を使用しています。

●お問い合わせは

印刷2015年9月 改訂2015年9月  
(S-89)D2D10(DT/NH)13.06

電動式  
防火・防煙  
シャッター  
にも対応

電気に頼らない、避難時停止装置。  
コスト低減、省エネにお応えします!

防火・防煙シャッター用（屋内専用）

**【機械式】避難時停止装置**※

※呼称について、(一社)日本シャッター・ドア協会では「危害防止機構」としています。

**メカセーフ** MechaSafe



**ランニングコストを低減**

従来の電気式避難時停止装置と比べると、バッテリー交換や充電用商用電源供給が不要となるためランニングコストの低減が可能です。



**設置コストを低減**

手動式の場合、従来の電気式避難時停止装置と比べると、電気配線工事が不要となるため設置時のコスト低減が可能です。



国土交通大臣認定	
防火区画の防火設備	CAT-0910
遮煙性能を有する防火設備	CAS-0906 (F6 スラット)
	CAS-0908 (G1 スラット)

仕様		
対象のシャッター	電動式/手動式 防火・防煙シャッター	
設計範囲	[防火] W1,400~12,500mm, H1,000~6,000mm ※W>11,000mmの範囲では、H≤5,000mmとなります。 [防煙] W1,400~11,000mm, H1,000~6,000mm	
適用スラット	F6、G1、G1sus、A1、A1sus、A2、A2sus ※防煙シャッターの場合 F6、G1、G1susのみ	
安全性	停止距離	5cm 以下
	作動時の運動エネルギー	10J (N・m) 以下
使用条件	周囲温度	-10℃~+40℃ (凍結状態は除きます)
	周囲湿度	RH85% 以下
環境条件	屋内専用。沿岸部、化学工場などの腐食性環境を除きます。また、直接風が当たるところおよび多量の油煙・水蒸気などが発生する場所(厨房など)には設置できません。	
設計耐用回数	電動式: 10000回/手動式: 500回	
設計耐用年数	15年	

2005年12月の建築基準法改正により、人が通る場所に設置されている防火・防煙シャッターには「危害防止機構の設置」が義務づけられています。  
また、2008年4月には建築基準法第12条に基づく定期報告制度が変更され、特殊建築物などの所有者・管理者には防火設備の作動状況について定期的な調査報告が義務づけられています。  
※座板スイッチが障害物を検知して停止した場合でもシャッターの重量により人身事故や障害物を破損するおそれがあります。また障害物に急な傾斜があるなど接触面の状態によっては障害物を検知できない場合があります。

(ご注意) ●新設品のみ設置が可能です。既設品への設置はできません。  
●マックススペース、微空間II、サンリリカスクリーンII、ポストレス防火・防煙シャッターには使用できません。  
●バッテリー交換は不要ですが、メンテナンスを必要としない商品ではありません。  
※設計耐用年数と回数は保証値ではありません。「設計耐用年数と回数」はお客様が適切な維持管理とお手入れを行い、かつ保守点検専門技術者による定期的な点検、保守が実施された場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煤煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では上記数値を満たすことはできません。また、使用頻度、点検・お手入れなどの状況により回数値を満たさない場合があります。